

年 組 名前:

甲府・劇団さくらっ子 15日から回顧展

パソコン紙芝居の台本の読み合わせをするメンバー
甲府市役所西庁舎



寸劇で社会問題啓発20年

台本、衣装展示「集大成の場に」

甲府市を拠点に寸劇を通じて社会問題の啓発活動をしている「劇団さくらっ子」（平井ゆみ代表）は、創立20周年を迎えた。防災や高齢者を狙った詐欺、地球温暖化などさまざまなテーマのオリジナル劇を披露してきた。15日から3日間、20年間の活動を振り返る企画展を市役所で開催する。平井代表は「20年間の活動の集大成を多くの人に見てもらいたい」と話している。

（山本昂輝）

劇団は男女共同参画を推進 これまでの活動の集大成にする市女性市民会議のOGが、しよと15、17日、同市役所集まりの2004年に発足。現 市民活動室で企画展を計画。今は60、80代の女性8人がメ 活動を記録した写真のほか、ンバーとなっている。劇は親 台本、衣装、小道具などの展 族をかたった電話による「オ 示を予定している。15日の開 会式ではプロジェクターで上 レオレ詐欺」や食品ロス、地 映する「パソコン紙芝居」で 球温暖化などをテーマにした 20のシナリオがあり、脚本が 温暖化をテーマにした「未 からの衣装、小道具まで全てメン どの遭遇」を披露する。

メンバーは企画展に向け、 小学校や幼稚園、自治会の パソコン紙芝居の台本の読み 集まりなどで劇を披露し、公 合わせなど準備を進めてい 演回数は約200回を数える。平井代表は「意見の相 違で、メンバー同士がぶつ かるなどの困難もあったが、仲 の依頼を受けることも多く、 東京都や神奈川県で劇を披露 間と支え合ってここまで続け したこともある。やまなし環 境財団が優れた環境保全活動 け、劇などを通して多くの人 に社会課題について考える機 会を提供していきたい」と話 している。

(2025年5月3日付 山梨日日新聞 14面)

問1

甲府市を拠点に活動している劇団が、創立20周年を迎えました。どのような内容をテーマとしたオリジナル劇を披露していますか。

.....

問2

劇団は、どのような場所で劇を披露していますか。

.....

問3

なぜ劇団は、この活動を続けているのですか。

.....